

研修活用促進ステップアップシートについて

【中堅Ⅱ研修】

1 ステップアップシート提出方法

メールにより、この PDF ファイルを送付してください。

研修活用促進の“専用”アドレスです。

| 区 分 | 留意点等 |
|-------|--------------------------|
| 宛 先 | stepup@pref.hiroshima.jp |
| 件 名 | 中堅Ⅱ研修（第〇回）の広島一郎 |
| 本 文 | なし |
| ファイル名 | 中堅Ⅱ研修（第〇回）の広島一郎.pdf |

受講した研修名・回次を
記入してください。

広島一郎の箇所を受講者の名前にしてください。

2 ステップアップシート提出時期

令和6年2月1日（木）から2月29日（木）まで

3 科目名・ねらい・内容

3 ページ目に一覧表があります。
参照しながら、ステップアップシートを作成してください。



ひろしま自治人材開発機構
広島県自治総合研修センター



令和5年4月

令和5年度 研修活用促進ステップアップシート

研修名 _____ 研修 _____ 回次名 _____ 回次 _____
 所属 _____ [所属コード5桁] _____
 受講者〔職名〕 _____ [氏名] _____ [職員番号6桁] _____
 上司(管理者)〔職名〕 _____ [氏名] _____

ステップ1 受講前に記入

記入したものを研修当日使用する(要:データ保存又は印刷)

| | |
|--|--------------------|
| ① 受講に当たり学びたいこと | 上司記入欄(受講者に期待すること等) |
| | |
| ② 研修期間中の業務状況及び要引継事項 ~ 研修に集中する環境を整えましょう ~ | |
| | |

ステップ2 受講後に記入(概ね1週間以内)

| | |
|----------------------|---------------------|
| ③ 学んだ内容を活用して取り組みたいこと | 上司記入欄(上司として支援すること等) |
| | |
| 活用する 科目名 | |

ステップ3 9月に記入(適宜)(上司との面談のタイミングなどを活用してください)

| | |
|------------|-----------------------|
| ④ ③の進捗状況 ※ | 上司記入欄(取組内容や進捗へのアドバイス) |
| | |

※取り組みたい内容が変わったら、ステップ2③を上書き修正しても構いません。
 ※初任(後期)、若手、中堅Ⅱ研修のうち、9月以降の実施回次を受講した場合は、このステップは省略となります。

ステップ4 2月中に記入・提出

メールで研修Cへ提出【2/29(木)期限】すること
 宛先: stepup@pref.hiroshima.io

| | |
|-----------|----------------------|
| ⑤ 取り組んだ結果 | 上司記入欄(今後、受講者に期待すること) |
| | |

中堅Ⅱ研修

| 科目名 | ねらい | 内容（予定） |
|------------------|--|---|
| 行動理念 | 「行動理念」の重要性、「行動理念」の内容などを学ぶ。 | 「行動理念」の重要性、「行動理念」の内容、「行動理念」の具体的な実践事例、「3つの心掛け」など |
| 人事評価 | コンピテンシー、目標申告制度などを学ぶ。 | コンピテンシー、目標申告制度 など |
| コーチング | 職場におけるコミュニケーションを円滑にするコーチングの基本的スキルを習得する。 | 1 コーチングとは 2 コーチングの応用スキル（承認・質問のスキル） |
| キャリアデザイン・リーダーシップ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中長期の社会変化を捉えた上で自らありたい姿を描き、その実現に向けて自ら取り組むことを明確にする。 ・ 県のビジョン実現に向けて、必要とされるリーダーシップについて学び、自身の課題を明らかにする。 | 1 キャリアを考える（キャリアを考える必要性／自分の人生と職業人生） 2 Will・Must・Can <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜWillをかんがえるのか ・ Mustを考える2つの視点（内と外） ・ Canを増やし高めていく必要性 3 キャリアと仕事を重ねて考える <ul style="list-style-type: none"> ・ キャリア・ロール・トランジションモデルとは ・ 成長につながる仕事経験とは 4 リーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> ・ リーダーシップを発揮するための行動 ・ 自分自身の取組課題 |
| 経営学Ⅳ | 経営学に係る一連の流れを改めて確認するとともに、事業計画策定を実践する。 | 1 課題解決とは～問題の特定～ <ul style="list-style-type: none"> ・ あるべき姿と現状のギャップをおさえる ・ 優先順位のつけ方 ・ 担当業務の問題に優先順位をつける 2 原因の探求 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因分析のポイント ・ 担当業務の問題の原因を分析する 3 課題設定と施策立案 <ul style="list-style-type: none"> ・ 原因（真因）と課題の関連性 ・ 目的と手段の違い（ゼロベース思考のすすめ） ・ 担当業務の課題を実践するための施策を立案する 4 あるべき姿を実現するための課題解決ストーリーの作成 |